



福祉だより ひらつか

第150号

令和5年7月（2023年）

発行
社会福祉法人 平塚市社会福祉協議会

〒254-0047
平塚市追分1番43号（福祉会館内）

TEL 0463(33)1377
FAX 0463(33)6588



タウンニュース社イベントサイト
レアラにて情報発信中



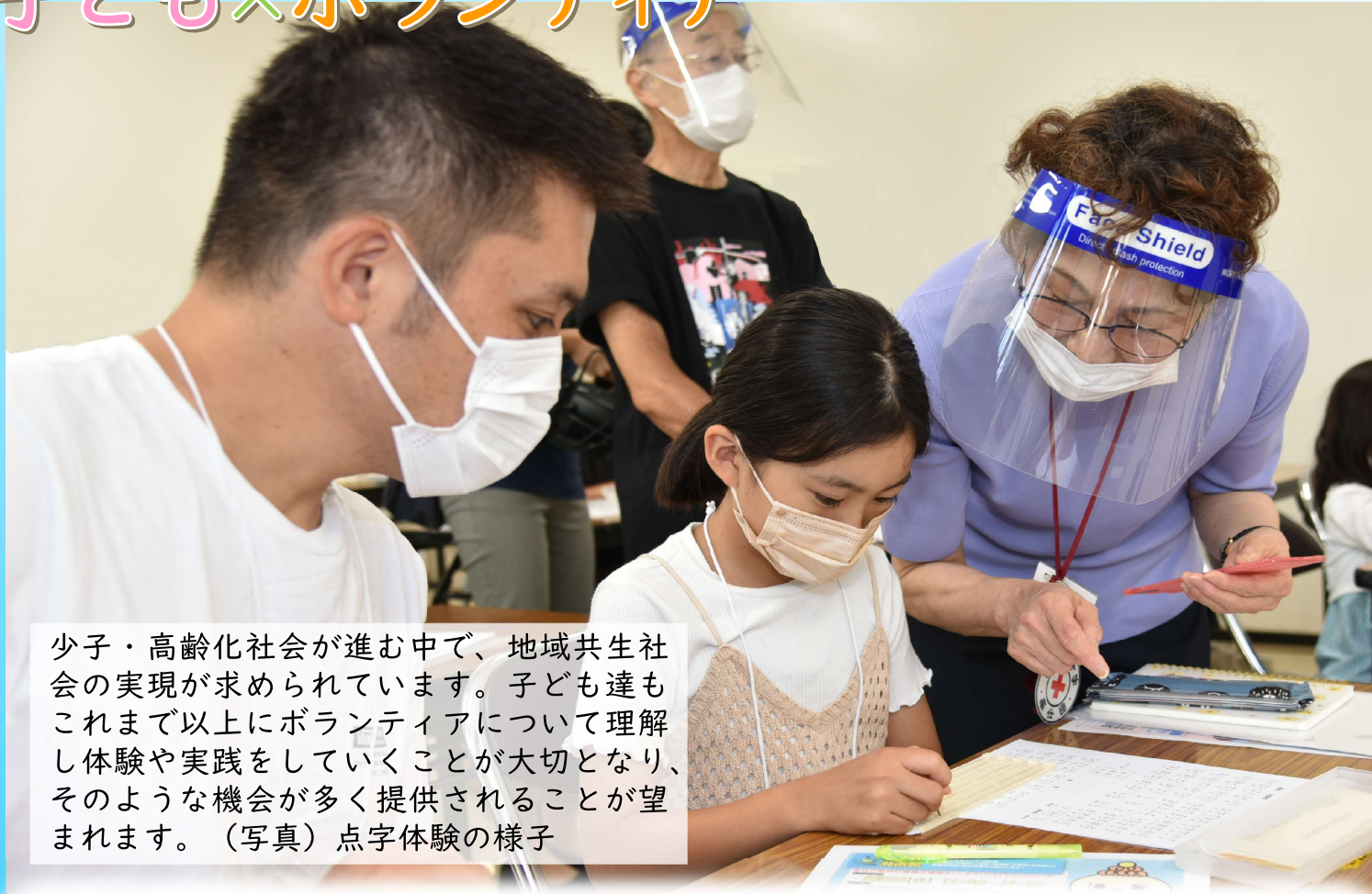
平塚市社協

検索

公式サイト

<http://www.hiratsukasyakyo.jp/>

子ども×ボランティア ~共生社会を目指して・ヤングボランティア編~



少子・高齢化社会が進む中で、地域共生社会の実現が求められています。子ども達もこれまで以上にボランティアについて理解し体験や実践をしていくことが大切となり、そのような機会が多く提供されることが望まれます。（写真）点字体験の様子

◎親子で福祉体験スクール

夏休み期間に、市内在住の小学1～6年生を対象に「点字体験」や「手話体験」を当事者の方やボランティアの方を講師に実施しています。今年度は7/27、7/28に開催。（先着順）詳しくは下記までお問合せください。

◎学校での福祉学習

市内の小中学校で、福祉体験学習を行っています。昨年度は小学校19校、中学校9校で実施されました。



◎ひらつか子ども・子育て支援ネットワークの活動

ボランティアの方々のほか、さらに支援の輪が広がるように平塚市と市社協が協力して、子育て世帯への支援の充実を目指しています。



詳細はこちら↓

facebook



instagram



お問合せ ☎ 0463-33-0007

地域福祉推進課 ボランティア活動支援班・子育て支援班

開所日 月曜日～金曜日 時間 9:00～17:00

住所 平塚市追分1-43（福祉会館内 2階事務所）

令和5年度 重点目標と予算

以下の重点目標を中心に、社会福祉の向上を目的とする事業の実践、連絡、調整等を行うとともに、平塚市地域福祉活動計画（第3期）による住民ニーズを基本とした事業を展開します。予算規模は7億円強となり、社会福祉協議会の会費、寄付金、補助金、業務委託による収入などを財源としております。

重点目標

1. 相談支援体制の強化
2. コミュニティソーシャルワーカーの活動推進
3. 企業等への貢献活動の参加促進
4. 生活困窮者への支援の充実
5. 子育て支援のプラットフォーム
6. 災害時支援体制の強化
7. 自発的な事業展開

予算内訳

総額 7億1,871万円

(単位 千円)

法人運営、広報、社会福祉基金、共同募金など	177,631
老人福祉センターの運営	15,467
小地域、ボランティア活動、援護事業など	119,315
平塚栗原ホーム、介護事業他	88,989
子育て支援センターの運営	15,045
生活困難者支援など	48,029
地域包括や成年後見などの公益事業	174,433
福社会館、平塚栗原ホームの管理	79,801
合計	718,710

医療・介護職の相談窓口及び市民の学びのひろば

-平塚市在宅医療・介護連携支援センター通信 vol.1-

平塚市在宅医療・介護連携支援センターでは、医療・介護等の専門職の方々へ、スキルアップを図るため研修会の実施や、医療・介護に関わる情報を提供しています。また専門職の方々の相談窓口ともなっています。

市民の皆様には、2025年に突入する「超高齢社会」問題に備え、講演会等を実施しています。10月以降、聞こえにくい方とのコミュニケーション（ACPの実践における）や終活についての講演会を予定しています。

また、YouTubeチャンネルでも介護サービス等の情報を動画で紹介していますので、是非ご覧ください。



詳細はこちら→

<https://hmc-renkei.jp/>



健康わんぽいんと 睡眠中の熱中症にも気を付けて！

ジメジメした梅雨の後は猛暑がやってきます。熱中症にならないように十分注意したいものです。熱中症は室内でも起こることは既にご存知かと思いますが、睡眠中も気をつけましょう。意外にも、熱中症の約4割は夜間に発症しています。



就寝中の熱中症予防



- ① 寝る前までにエアコンで部屋を十分冷やしておき、寝るときに快適温度に設定
- ② エアコンは一晩中つけておく（オン・オフ繰り返すよりお得です）
- ③ エアコンの風量は「自動」
- ④ エアコンの風を直接浴びないよう風向きを調整
・軽い布団を掛ける ・長袖・長ズボンを着用
- ⑤ 寝る前とトイレに起きた時に水分を補給



あたたかい善意を ありがとうございました

令和5年4月～5月 ※敬称略・順不同

【社会福祉基金へ 合計 12件 377,247円】

平塚市では昭和56年度から、社会福祉の事業に充てるべく社会福祉基金を創設し、ボランティアの育成や地区社協活動の充実、低所得世帯援護事業等に活用されています。

磯崎輝夫 大野子どもの家 山城子どもの家 平塚市商業観光課
湘南ヤーコン応援団 星の子サークル 八幡地区社会福祉協議会
矢野初枝 塩田零子 スターライトポイント運営事務局（3月分）
匿名2件

【交通遺児へ 1件 133,000円】 神奈川県自転車商協同組合

寄付金は地域福祉事業を行う上で大きな支えとなっています。右記種類のほか、事業指定のご寄付も可能です。今後とも皆様のご協力をお待ちしております。

お問合せ ☎0463-33-1377

「福祉だよりひろつか」は皆様からの賛助会費と赤い羽根共同募金により発行しています。